

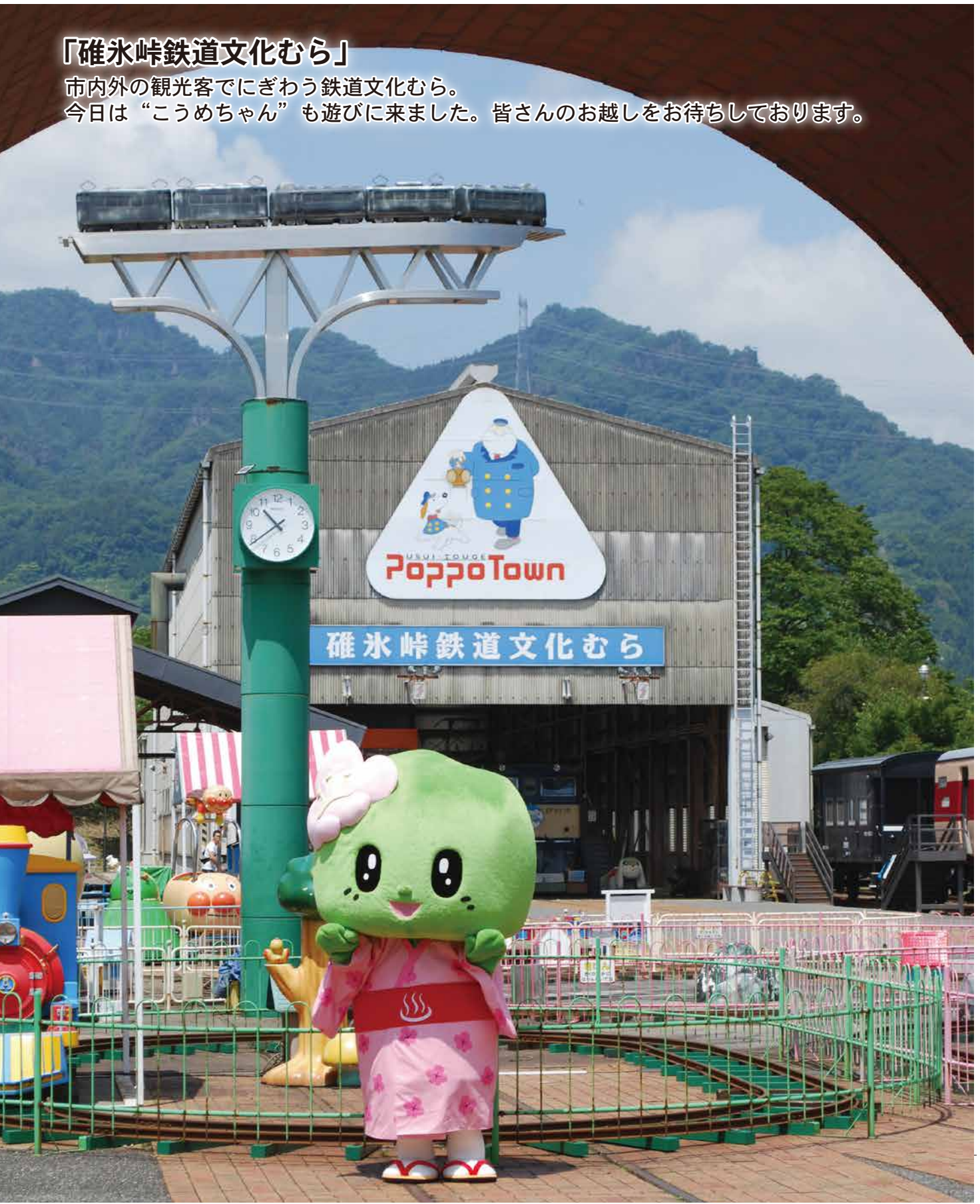
安中市 議会だより



◆発行日 平成26年7月18日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 (株)ヒューマンサポート

「碓氷峠鉄道文化むら」

市内外の観光客でにぎわう鉄道文化むら。
今日は“こうめちゃん”も遊びに来ました。皆さんのお越しをお待ちしております。





吉岡 登
(民声クラブ)

観光振興について

「峠の湯」の再建状況について

問 再建進捗状況と内容は。

答 現在までに七回の設計協議を経て、六月末に設計完了する予定で、その後、市による内容審査と修正を行い建築確認申請手続きに入る手順です。

問 建物の内容はどうか。

答 罹災した中央棟は解体して新築します。中央棟一階左半分と左棟一階は、出入り自由な来館者スペースとし、軽食・物産販売・トイレ等新たなサービスを提供する予定で、一階右半分がフロントホール、二階が休憩室・個室等休息エリアとなり、以前より約五百六十五㎡の面積増で、災害時の避難所になるような取り組みも検討しています。

問 工事期間と完成予定は。

答 工事スケジュールは、七月から入札準備手続きに入り、入札執行を九月末日前後に予定し、市議会の承認を得て契約締結し、

本格的な工事が始まり約一年間の工事期間を見込んでいます。

問 碓氷峠周辺整備計画について

答 アプトの道周辺整備は定期的に点検を行っています。倒木や落下の恐れがある枯れ枝なども取り除いており、今後も安全管理に努めます。

その他、トロッコ列車運行区間延伸計画と碓氷関所の国指定に向けた今後の取り組みについて質問しました。



再建を待つ峠の湯



上原 富士雄
(公明党)

市長の各種事業見解、並びに公約の取り組みについて

富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録を見据え発足された、三

市町の観光連携協議会等について

問 富岡市・安中市・軽井沢町の連携協議会の経緯及び、市長公約でトロッコ列車の延伸是非の影響、今後の連携強化策は。

答 四月二日に設立総会を開催し、後に魅力的な情報発信や広域キャンペーン等を協議。トロッコ延伸是非の影響は無いと考え、また宿泊地の振興を図ります。

問 市は二月の豪雪による初動体制の不備を認めた。今月の全国一斉緊急地震速報訓練もミスで行えず、危機管理体制が問題かどうか総括し、不測に備えるのか。

答 国・県と連携の強化を図り、市幹部の参集体制を見直します。防災にミスは許されず、早急に危機管理体制づくりを進めます。

問 総合医療センターの設置について

答 碓氷病院の累積赤字が十三億

五千万円と増大。改革が叫ばれる中、医療センター構想とは。

答 現在、救急医療体制が不十分で市民の負託に応えていません。

命を守る体制を関係機関や専門家を交え『医療体制の在り方検討委員会(仮)』を立上げ、小児救急を含め二次救急医療のある総合的な医療体制を目指します。また、ドクターヘリの離発着も視野に入れた構想です。

その他一項目、小中学校の給食費無料化について、質問しました。



トロッコ列車「シェルパくん」



小宮 ふみ子
(民主・社民クラブ)

空き家対策・ごみ減量化 対策について

空き家対策について

問 住宅事情が大きく変化し、空き家問題は深刻化している。危険性の高い空き家の実状・実態調査は。

答 空き家総数三千五百五十件の内、腐食、破損のものが千六十件。実態としては老朽化の度合、立地性、環境面での特性があります。

問 他市や国の空き家対策の取り組み状況は。

答 県内六市町が空き家対策条例を定め、所有者への改善勧告、指導等を行い、適正な管理体制を整えています。

問 空き家適正管理条例の制定への見解は。

答 条例化については一歩進め、先進市の事例を参考にしながら検討します。

ごみ減量化対策について

問 古紙回収回収モデル地区は昨年十月から半年間、二か所で実

施されました。実施効果は。

答 板鼻・西横野地区の二か所、六ヶ月間で月一回の古紙回収を実施し、合計約四十・二t回収できました。検証結果から回収できました。検証結果からリサイクル関心度を高め、資源回収への理解が得られました。

問 ごみ減量化対策としての古紙回収の早期、市内全域の実施見解は。

答 モデル地区の実施成果はあり、早い時期に実施していきたいです。



古紙回収



武者 葉子
(公明党)

人口激減社会と市の将来・観光振興 とまちづくり・温暖化対策について

提言について

問 日本創世会議より出された人口減少問題について、若い人たちの意見交換などのできる場が必要と思うが市の考えは。

答 若者の意見を聞くことは必要と考えています。

問 女性の活躍できる社会の構築について

答 提言で指摘された、女性の減少対策と女性の活躍できる場の創設について市の見解は。

答 支援の積み重ねが大事、女性が活躍できるため、意識を持って取り組みます。

若者の定住策について

問 先進地では、人口減少に歯止めをかけるために、職員を配置し、市一丸となって若者定住策に取り組んでいる。当市も早急に対策を取るべきと思うが、市の見解は。

答 就労、結婚、子育て支援をさらに進め、先進事例も参考に市

として「住み続けたい」まちづくりに全力をあげます。

地域資源の活用について

問 当市には、多くの観光資源があるが、若い人たちの斬新な意見を取り入れ、地域を元気にしていく考えは。

答 鉄道文化むらの夏祭り、電車と綱引きを企画、また、他の市町村と連携したツアーを実施するなど、若い人たちのアイデアも生かした企画を進めます。その他、一項目を質問しました。



アプトの道 (碓氷第三橋梁)



櫻井ひろ江
(日本共産党安中市議団)

市長の市政運営に関する考え方・ 残土条例・介護保険について

給食費の無料化について

問 どの子も安心して給食が食べられることは重要。無料化のスケジュールはどうか。

答 今後、協議を重ねて早いうちに実施したいと考えています。

総合医療センターについて

問 碓氷病院との関係やセンターの構想はどの様なものか。

答 救急体制や病・病連携など、センター的な医療体制のあり方を検討する検討委員会を立ち上げます。

産廃処分場について

問 県の事前協議が終了した大谷や郷原の民間処分場計画に対し、市民の反対の声は圧倒的だが、どう対応するのか。

答 反対を継続していきます。

板鼻体育館について

問 避難所、体育館機能が必要なのは理解するが、どの様なものを造るか検討すべきではないか。

答 体育館については慎重に検討

します。

安中南地区区画整理事業について

問 県の新ガイドラインでは手法を変更できるようだが、現計画は廃止し検討すべきではないか。

答 時間が経過し当初計画による効果は得られないと考えます。

市の残土条例の早期制定について

問 県条例では規制できず問題が起きている。いつ頃作るのか。

答 本年末を目処に検討します。その他、介護保険について質問しました。



楽しい学校給食



金井久男
(日本共産党安中市議団)

市長の市政に対する基本的な 考え方について

デマンド交通対策について

問 過疎地域にとって「生活の足」としての公共交通は切実だ。

松井田地域の対策はどうか。

答 ハイヤー協会などの検討もあり、民間レベルの動きなどを参考にしながら検討しています。

「道の駅」構想について

問 松井田妙義インター周辺の条件を活かして農産物直売所に

答 「道の駅」を併設したらどうか。防災拠点としての機能を考えると国道十八号沿いに設置するのが望ましいと思います。

トロッコ列車の延伸について

問 旧碓氷線を軽井沢まで延伸させる計画は無謀ではないかと三月議会で指摘したが、計画変更はあるのか。

答 安全性などに問題があり、難しいと思います。

「新島襄記念館」について

問 新島夫妻だけでなく柏木義円、湯浅治郎など功労者一同を顕彰

する施設が望ましいと思うが。

答 総合的に見直していきたいと思えます。

高齢者対策について

問 上野村では、元気な高齢者が共同して生活できる施設があるが、市でも取り組む考えは。

答 参考にしたと思います。

「緑の県民税」について

問 消費税増税など厳しい状況の中で、なぜ超過課税なのか。

答 厳しい中だが、市民に損をさせないために判断しました。



乗合タクシー



柳沢 浩之
(清風クラブ)

学校給食・観光振興・ 高齢者対策について

給食室の運営について

問 給食調理員補充と給食室の暑い環境の現状と対策は。

答 正規調理員は、学校給食のあり方を含め方向性を出さなくてはならない時期にきています。暑さ対策は、平成二十七年度、二十八年度の予定で各学校のエアコン設置に合わせ給食室についても適正な設置を検討します。

問 県教委等からのサラダ専用冷蔵庫やドライ方式の指導について、今後の対応は。

答 サラダ専用冷蔵庫は、要望のあった三校を予算化しました。ドライ方式は、学校給食のあり方と併せて検討して参ります。

問 給食室の調理機器や施設の老朽化の現状と対策は。

答 衛生面や安全面で問題が生じる場合、早急に修繕・機器や器具の入替を行っています。



給食室の風景

答 自校方式、センター方式には、長所短所があるので、現状や関係者の意見を考慮し検討する必要があると考えています。

問 学校給食のあり方に関する事業計画については。

答 学校給食は、とても大切であると思います。現場の課題については、関係者として協力し、子どもたちの健やかな成長を最優先に取り組んでいきます。その他、二項目について質問しました。

議会改革特別委員会を設置

平成二十三年第三回定例会において、正副議長をオブザーバーに各会派代表者七名で構成する議会改革検討委員会を設置して議会改革を進めてきました。この間、一般質問の一問一答制の導入、議員研修会等に取り組んできました。

特別委員会としての調査結果や成果等につきましては、中間報告できる状況であれば、随時、本会議で報告いたしますが、最終報告は、平成二十七年第一回定例会で行う予定であります。

今定例会では、更なる議員としての資質の向上、開かれた議会を目指し取り組むことを目的に、議会改革特別委員会を設置しました。期間は、六月十三日から調査終了(現在の任期中)までになりますが、積極的に調査・研究を進めていきます。

調査・研究項目

- 議員定数等に関すること
- 議会基本条例の制定について
- 議案に対する賛否の公表について
- 議会報告会の開催について
- 映像配信について
- その他議会改革に関する調査・研究について

議会改革特別委員会構成

委員長	土屋 弘	副委員長	田中 伸一
委員	櫻井 ひろ江	吉岡 登	今井 敏博
	吉岡 完司	武者 葉子	上原 富士雄
	川崎 文雄	大野 貞義	中島 徳造
オブザーバー	(議長)伊藤 清	(副議長)柳沢 吉保	

総務文教常任委員会行政視察報告

総務文教常任委員会は、五月十三日から十五日にかけて福島県二本松市及び岩手県久慈市の先進的な取り組みを教訓化するために、行政視察を行ってきました。

二本松市では、統合した東和小学校建設事業の取り組みを視察しました。旧東和町は、少子化が進む中、教育環境を整備するために七小学校の統合が方向付けられ、検討委員会を平成八年に発足させ、長期間、統合に向けて調査研究を行い、様々な問題や課題を検討し、学校関係者の理解と住民の協力のもとに解決してきました。平成二十二年に既存の七校が統合し、東和小学校が新設されました。東和小学校は、標高四百mの高台に新設され、自然に囲まれた環境の中で児童たちは伸び伸び運動に勉強に励んでいました。学校の教室は、ワンフロアの広い空間の中、腰壁に木羽目板貼りでぬくもりを感じました。また、新エネルギー活用

で太陽熱利用型方式による最新技術の機器や器具を使用し、体にやさしく柔らかな空調・照明設備が整備され、エコスクールの環境により児童たちは、楽しく元気に動き回っていました。本市も自然エネルギーを活用したエコスクール化の推進が必要であると思います。久慈市では、地域コミュニティ振興事業の取り組みを視察しました。活力ある地域づくりと協働のまちづくりを市民が自主的に推進していくことを学んできました。



統合された東和小学校（二本松市）

本常任委員会は、五月七日から九日までの日程で、福岡県大牟田市の「地域認知症ケアコミュニティ推進事業の概要について」及び大分県中津市の「男性の子育て参加推進の取り組み・パパママスクールの概要について」等、行政視察を行いました。大牟田市は、日本の近代化に貢献した三池炭鉱とともに栄え、平成九年に閉山された後、人口も大幅に減少し、高齢化率が三二%を超えています。今後、認知症高齢者が増加することは明らかであり、いかに早期発見し、効果的な予防に結びつけ、介護する家族の負担をより軽減することが、大きな課題であります。認知症の人とその家族を地域全体で支え、安心して豊かに暮らし続けることができるよう、まちづくりを推進しています。



子育て支援の取り組みを学ぶ（中津市）

福祉民生常任委員会行政視察報告

開催されるようになり、多世代交流を図ることができました。また、認知症の普及啓発の一環として「小中学校の認知症絵本教室」も行っています。

子どもの明るい声がひびきあう中津市は、母子保健事業における父親の育児参加の推進に取り組んでいます。なお、企業誘致の成果により、合計特殊出生率が一・八七となっております。

いずれも、実り多い研修ができました。

今定例会の議案

○安中市副市長定数条例の制定について

複雑化する地方自治に対応できる組織の形成、強化や施策、企画における適切な方向付けを行うため、また、市長が不在の際には、行政運営を支障なく円滑に遂行するため、副市長を一名設置したいというものです。

○安中市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について

○安中市市税条例等の一部を改正する条例について



碓東小学校仮設校舎

○安中市立保育所設置条例の一部を改正する条例について

安中市立松井田第一・第二保育園の統合に伴う名称及び地番の変更を行うため、条例の一部を改正するものです。

○平成二十六年年度安中市一般会計補正予算 (第二号)

○安中市立安中中学校校舎耐震補強及び大規模改造建築工事請負契約締結について

○安中市立碓東小学校校舎耐震補強及び大規模改造建築工事請負契約締結について

○松井田統合保育園建築工事請負契約締結について

意見書案を可決

意見書とは、地方自治法に定められているもので、国や県などに対し、地方議会が文書で意見具申をすることができるものです。

今定例会には、二件の意見書(案)が提出され、可決されました。可決されました意見書は、内閣総理大臣をはじめ、国や県の関係省庁に送付しました。

《可決された意見書》

○手話言語法制定を求める意見書
○義務教育費国庫負担制度の国負担割合を二分の一に還元することを求める意見書

●お詫びと訂正

議会だより第三十七号六頁に掲載しました平成二十六年各会計予算の表中、介護サービス事業会計の平成二十六年年度予算額は、五千八百八十万千円の誤りで、平成二十六年各会計予算合計額は、五百五億三千九百九十五万円となります。お詫びして訂正いたします。

次の定例会(予定)

次の定例市議会は、九月一日から九月十七日までの十七日間の会期で開催される予定です。

◇1日 本会議 開会、議案の上程等

◇11日 本会議 一般質問

◇12日 本会議 一般質問

◇17日 本会議 委員長報告、採決等、閉会

編集後記

梅雨明けも間近となり、お元氣でお過ごしのことと思います。これから夏本番になります。熱中症にならないように、水分補給を忘れないように、お体には十分気を付けていただきたいと思います。

第二回定例会において議会改革特別委員会が設置され諸課題について議論されることになりました。市民の皆さんの声をよく聞き、議員一人一人が改革の意識を持って、より良い議会になるよう努力していきます。編集委員会も議会の役割や議員活動を身近に感じていただけるように、議会だよりの見やすさなど構成に努めていきます。

(小林)

連絡先

安中市役所 議会事務局宛
☎ 382-1111 内線 1349番

編集委員

◎小宮 ふみ子
○櫻井 ひろ江
柳沢 浩之 佐藤 貴雄
小林 訂史 今井 敏博
吉岡 完司 武者 葉子